各社が誇る、現場で活躍する社員

地域にとって「できる」提案

三水コンサルタント
西日本事業本部 西日本施設事業部
施設第一部
小野 真悠子さん

■場内設備や耐震診断

水専門コンサルタントの技術担当として昨年入社し、現在2年目になります。地方公共団体から受託した下水処理場の設計業務を担当し、昨年は場内の返流水管の改良設計等を担当しました。現在は、処理場の耐震診断業務（旧耐震基準で設計された既存建築物の耐震性の有無を確認すること）のうち非線形解析を主に担当しています。

入社のきっかけは、大学3年生の時に就職担当教員からいただいたインターンシップ先の一覧表の中から三水コンサルタントの名前が目に留まったことです。私が所属していた土木コース専攻のインターン先は公務員やゼネコンが多く、水コンサルは珍しかったので興味を持ちました。また、インターンにおいても社員から日常業務や休暇の過ごし方についての話を聞くことができたほか、計画業務を担当する部署で業務を体験できたことで、自分が働く姿を具体的にイメージすることができたのが大きな動機となりました。

■地域性を掘り下げて

入社1年目を終えた感想としては、専門分野の土木以外にも幅広い分野の知識が必要だということです。とある地方公共団体から、下水道事業における温室効果ガス削減検討業務を受託したことがありました。2050年のカーボンニュートラル（CN）を目標に、2030年時点での約50%削減を目指す中で、例えば下水道関連施設へどのような設備を導入すれば目標を達成できるかといった検討を行う、計画分野や機械分野の知識も必要とするものでした。

検討に当たっては、その地域の背景や今後の人口予測、メーカー等の技術動向等に基づき、最終的に地域にとって実現可能な提案を行う必要があります。例えば、下水汚泥から燃料化や肥料化を行う場合、燃料や肥料の引き取り先や利用先が地域の中にあるのかも考慮しなければなりません。CNという一つの目標であっても、自治体によってさまざまな課題があり、優先度を考量し実行に向けた提案を行う難しさに気付かされました。

知識を身につけるだけでなく、お客さまとの打ち合わせ等の場においては、専門用語等は可能な限りかみ砕き、丁寧に説明するようにも心掛けています。

■新しい業界へ挑戦

私も水コンサル担当者の駆け出しとして勉強中の身ですが、少しずつ理解を深めることで、最近は「こういうことだったのか」と発見することも増えてきました。私の場合、自分がよく知らない業種のインターンに行ったことで出会った仕事でした。就職活動中の皆さんも、自分がイメージできる業界を目指すのも良いと思いますが、全く知らない業界や業種にチャレンジしてみるのも新しい発見があるのではないでしょうか。その選択肢の一つに、水コンを加えていただければ嬉しいです。

総合力生かし課題解決へ

水ingエンジニアリング
営業本部エンジニアリング営業統括部
ソリューション営業部
原澤 颯さん

■多様な事業展開が入社の決め手に

水インフラに興味を抱いたきっかけは、大学2年生の時、上下水道事業に関する講義を受けたことです。官民連携や広域化（自治体間の連携）について学ぶ中で、持続可能な水インフラを実現するための新たなソリューションを創出する必要があると感じるようになりました。その後、専攻では衛生工学を選択し、卒業論文では下水処理について執筆しました。

就職活動では、水インフラを支える現場の声を最前線で聴き、事業を創出することで社会貢献したいと考え企業を選びました。幅広く事業を展開し、高い技術と豊富な実績を有する企業に就職したいと検討していた中で出会ったのが当社です。さまざまな事業のシナジー効果を最も期待できる会社であることが、入社の決め手になりました。

■官民が協力し事業推進に向け模索

今は入社3年目で、ソリューション営業部に所属しています。特に下水道事業におけるDB（Design Build）やDBO（Design Build Operate）など施設の設計・建設・運転管理を、自治体が必要な機能を明示した上で民間事業者に一括して委ねる性能発注方式の案件で営業を行っています。とりわけ下水汚泥の肥料利用が推進されている事業背景から、下水汚泥の有効利用に関するものが多いですね。

DB・DBOや汚泥の有効利用事業は全国的に事例が少なく、客先である自治体職員の方から事例紹介のご依頼をいただくことがあります。エリアを問わず案件に取り組む部署であるため、私も自治体に伺い意見交換をさせていただいています。職員の方々から「参考になった」「来てもらって良かった」と言っていただけることが、自信につながっています。

汚泥の有効利用に関する事例を説明する中で、利用先を含めた有効利用のノウハウ不足を課題とする声も聴きます。どう連携を図れば、ともに事業を推進していけるかという問題意識を持ち、地域課題解決のため、今後も官民双方にメリットのある提案を模索していきたいです。

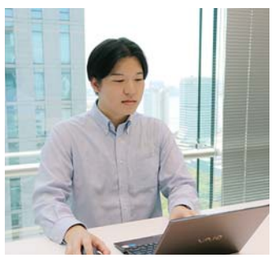
■フランクな関係性で支援も充実

当社では、主体的に業務を推進できる環境が整っています。先輩や上司から都度アドバイスしてもらえますし、フランクな関係性の中で非常に働きやすいと感じています。入社後は1カ月半の配属前研修などがあり、浄水場や下水処理場でオペレーション現場の業務を体験する機会もあります。また、3年目まではOJTリーダーが割り当てられるなど、支援体制も充実していると思います。

■次世代で課題解決へ

この業界を検討している皆さんには、これからの社会の課題解決に当たり、自身の強みを最も生かせる職場環境はどこかという視点で企業を選んでいただきたいです。

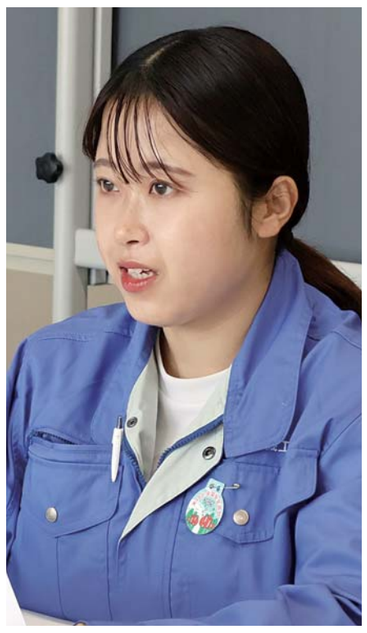
幅広いソリューションを有する当社では、皆さんが活躍できる環境が、きっとあります。ぜひ多くの方々に入社していただき、一緒に働けることを楽しみにしています。



水を仕事にする魅力、やりがい

試行錯誤の研究にやりがい

大成機工
工事技術部
橋本 梨紗子さん



■ものづくりへの憧れから

大成機工は、既設の水道管路等に取り付け、管路の耐震性を向上させる製品を供給するトップシェアのメーカーです。断水せずに既設管の分岐等の工事を行う「不断水工法」とよばれる特殊工法を開発したことでも業界では広く知られています。大成機工では不断水工法の工事で使用する機材の開発も担っていますが、私の所属部署はカタログに記載されている鋳物製品では対応の難しい大口径管路等の工事に特化したオーダーメイドの製品や機材の設計を担当しています。

大学では水質分野を専攻する一方、ものづくりや技術職にも憧れがありました。その中で、上下水道管路等の維持管理を通じて社会貢献を実感できるという当社の事業に惹かれ入社しました。

■穿孔機の改良に取り組む

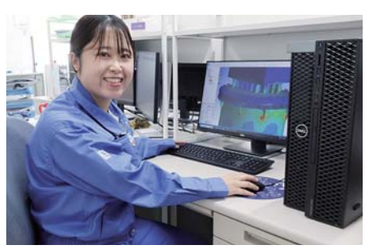
今年で入社3年目になりますが、主な業務としては営業部署からの依頼を受けた工事関連の図面作成、機材の製作を依頼するための詳細図面の作成を担当しているほか、新規の機材開発のテーマにも取り組んでいます。社内では製品や機材の改良に向け、一人ひとりにさまざまなテーマが与えられています。私はその中で、不断水工法に使用する穿孔機の製作、穿孔機に取り付けるカッター等の機材の開発や製作を1年以上にわたり行っています。例えば、これまでの穿孔機よりも力の大きい穿孔機を開発することで、これまでの穿孔機では力が弱く、穿孔が難しかった硬質な管などを容易に穿孔できるようになり、対応可能な範囲が広がります。

私は上下水道に関する知識をあまり持たずに入社したので、当初は上司や先輩から指示された内容を理解するところからのスタートでした。たった一つの機材でも国内外のさまざまな業者が関わっているため、不良の原因特定に苦労した思い出もあります。しかし、機材を製作し、動作確認試験を行い、結果が良くなかったらどこが良くなかったかを考え、改良や改造を加えるという一連の流れは、大学での研究と同じだなと思っています。試行錯誤を繰り返す過程の中で、必要な知識やスキルが自然と身についていっているように感じています。

■ワークライフバランスが充実

当社では有給休暇のほかにアニバーサリー休暇、ライフサポート休暇といった休暇制度が設けられており、年間休日が128日と多く、また消化率も高いのが魅力だと思います。ライフサポート休暇は、家族の介護等の要件に応じて、有給とは別枠で月に1回取得できる休暇です。女性社員が育児休暇から復帰しやすいような制度もあり、長く働くことができる環境が整っていることには安心します。

最近技術部に入社した若手社員は、CADやものづくりの経験がない人も多いです。製品や材料に関する知識は、入社後からでも十分身につけることができますので、ものづくりに少しでも興味がある人は大歓迎です。



水と環境の創生コンサルタント
NSS 日本水工設計
ずっと もっと 水と ともに。
5daysインターンシップ
1day仕事体験 予約受付中!
←エントリーはこちら
（公社）全国上下水道コンサルタント協会会員
日本水工設計株式会社
代表取締役社長 細洞 克己
本社：〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1
TEL.03-3534-5511 FAX.03-3534-5534
https://www.n-suiko.co.jp

おかげさまで60年
60th

60年の歩みを時代の創造へ
人・街・自然・いきいき
中日本建設コンサルタント株式会社
代表取締役社長 庄村 昌明
本社／名古屋市中区丸の内一丁目16番15号 ☎052-232-6032
東京支社／東京都千代田区五番町14 ☎03-6261-3710
大阪支社／大阪市中央区内本町一丁目3番5号 ☎06-4794-7001
https://www.nakanihon.co.jp/